

5月20日リコージャパン（株）を会場として第183回研究会が開催された。参加者は17名であった。事務的内容の検討後、プロペラファン用羽根のパラメータ設計（齋藤誠/オリエンタルモーター（株））が検討された。本事例は、品質工学発表大会で発表するものであり、SN比の要因効果図から最適設計値は決まったが、そのPQ特性は希望するカーブから外れていたため目標カーブに合せ込みを行なった。チューニングにはL₁₈実験データから、非線形特性を推定し、制御因子のPQ特性に与える影響をグラフで確認しながら行なう方法を検討したところ、希望に近い特性に合わせ込む事が出来たが、初期設計に近い特性となった。発表後以下のようなアドバイスがあった。流体の専門知識がない場合、内容が理解しにくい。理想的なPQ特性の形を示してはどうか。SN比を最適化したものの効率が低くなるのはおかしいのではないか。